

教科	芸術科	科目	美術1	学年	1年
担当者	川口明日香			単位数	2
使用教科書	高校生の美術1(日本文教出版)				
使用教材	画材一式				
教科・科目の指導目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	オリエンテーション・自己紹介シート「私の好きな作品in教科書」作 鉛筆デッサン基礎2 明暗のグラ デーション、基本形態の描写 人物デッサン・自画像1	受講のきまりと授業計画を理解する。指示の通りに作業して提出物を完成できる。作成した自己紹介シートをもとに全員の前で自作業の内容に適合した形状に鉛筆を削り、指示の通りに作図して10段階以上の明暗の階調を表現できる。指示通りに作図して解剖学や観相学の知識に触れる。頭像の要素を挙げ、それぞれのパーツを観察して鉛筆で正確に描写する。名匠の作品に触れる。自分自身を客観的に観察して、写実的に表現しようと努めることができる。目的に応じた構図を採用できより正確な比率や形態、明暗や質感を探索し表現しようと努力することができる。自分自身の内面までも描き出そうと努力する。	14
6月7月	1学期期末考査	人物デッサン・自画像2 人物デッサン・自画像3 人物デッサン・自画像4 人物デッサン・自画像5 講評会・ まとめ 色彩構成1 色彩構成2	集中してより正確な比率や形態、明暗や質感を探索し表現しようと努力する。顔のプロポーションを正確にして、さらに内面性の表現時間を守って必要な要素について発表する。他者の発表を聴き、客観的に自己と他者の作品を中立公正に評価し今後の制作アクリル絵具の特徴、色彩の基礎を理解する。課題の内容を適切に理解する。色彩と形態を用い、造形秩序(バランス、リズムな配色計画に基づいてアクリル絵の具で目的の色を作り、明度・トーン別に塗り分けることができる。均一にはみ出さず美しく塗る	12
7月10月	2学期中間考査	色彩構成3 講評会・まとめ 夏休み課題発表、静物画1写実的 静物画概論・技法と材料について 静物画2エスキース 下塗り 静物画3下塗り・中塗り 静物画4中塗り	トレーシングペーパーやマスキングテープなどを必要に応じて使い最後まで丁寧に仕上げることができる。全員の作品を鑑賞し、時間を守って必要な要素について発表する。他者の発表を聴き、作品鑑賞への理解を深める。静物画の定義や17世紀オランダ画の比率の下図で構図の検討や明度計画をする。設計図が必要であることを理解する。モチーフに応じて科学的観察や構造西洋画の表現では重層的な着彩による色彩の響きあいや構造的・立体的な描写が重要であることを知る。ペインティングナイフ形態を正確に捉え、描くことの重要性を理解する。絵具を重ねることによって色彩が響きあうことを体感する。	18
10月12月	2学期期末考査	静物画5中塗り 静物画6上塗り・細部描写	よく観察・計測して形態と明暗を正確に描写する。全体感やモチーフ間の大きさや体積の比例関係、大まかな明暗の階調に注固有色を正確に調色すること、ブラッシュストロークがモチーフの形態や面の大きさ・方向と一致するように描くことの重要性を理解する。細部まで描ききって完成度を高める。	14
12月3月	学年末考査	静物画講評会・まとめ コラージュ「超現実主義的絵画空間を創る」 1 コラージュ「超現実主義的絵画空間を創る」 2 講評会・まとめ	時間を守って必要な要素について発表する。他者の発表を聴き、客観的に自己と他者の作品を中立公正に評価し今後の制作シュールレアリスムの芸術家グループとその思想・方法について理解する。コラージュの素材を収集する。 自分のイメージを構成する要素を決め、レイアウトについて学ぶ。はさみ・カッター・デザインカッターを正しく使い、収集した素材を細部まで丁寧に切り、順番を考慮して貼り付ける。最後まで完成度を高めることを追求する。 他者の発表を聴き、作品を客観的に評価する。一年間のまとめをする。	20

評価の観点・方法	作業の様子・作品・提出物
----------	--------------